

## 復活節第4主日

### 特禱・詩編・聖書日課・代禱

(聖書日課は聖書協会共同訳)

#### ◆特 禱

永遠の契約の血によって良い羊飼、主イエス・キリストを死人のうちからよみがえらせられた平和の神よ、どうか、わたしたちをみ旨にかなう者とし、み前に喜ばれるすべての良い業を行わせてくださいますように、主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン

#### ◆使徒言行録 13:15~16、26~33

<sup>15</sup> 律法と預言者の書が朗読された後、会堂長たちが人をよこして、「兄弟たち、何か会衆のために励ましのお言葉があれば、話してください」と言わせた。<sup>16</sup>そこで、パウロは立ち上がり、手で人々を制して言った。「イスラエルの人たち、ならびに神を畏れる方々、聞いてください。

<sup>26</sup> 兄弟たち、アブラハムの子孫の方々、ならびにあなたがたの中で神を畏れる方々、この救いの言葉は私たちに送られました。<sup>27</sup>エルサレムに住む人々やその指導者たちは、イエスを認めず、また、安息日ごとに読まれる預言者の言葉を、イエスを裁くことによって実現させたのです。<sup>28</sup>そして、死刑に当たる理由は何も見いだせなかったのに、イエスを殺すようにピラトに求めました。<sup>29</sup>こうして、イエスについて書いてあることがすべて実現した後、人々はイエスを木から降ろし、墓に葬りました。<sup>30</sup>しかし、神はイエスを死者の中から復活させてくださったのです。<sup>31</sup>このイエスは、ご自分と一緒にガリラヤからエルサレムに上った人々に、幾日にもわたって姿を現されました。その人たちは今、民に対してイエスの証人となっています。<sup>32</sup>私たちも、先祖に与えられた約束の福音をあなたがたに告げ知らせています。<sup>33</sup>つまり、神

はイエスを復活させて、私たち子孫のためにその約束を果たしてくださったのです。それは詩編第二編にも、

『あなたは私の子

私は今日、あなたを生んだ』

と書いてあるとおりです。」

#### ◆詩編 第100編

- 1 世界よ、主に向かって喜びの声を上げ || 喜んで主に仕え、歌いながらみ前に進め
- 2 主こそ神であると知れ、神はわたしたちを造られた || わたしたちは神のもの、その民、その牧場の羊
- 3 感謝して門をくぐり、賛美して中庭に入れ || 神に感謝を献げ、み名をたたえよう
- 4 主は恵み深く、慈しみは限りなく || そのまこととは世々に及ぶ

#### ◆ヨハネの黙示録 7:9~17

<sup>9</sup> この後、私は数えきれぬほどの大群衆を見た。彼らはあらゆる国民、部族、民族、言葉の違う民から成り、白い衣を身にまとい、なつめやしの枝を手を持って、玉座と小羊の前に立っていた。<sup>10</sup> 彼らは声高らかに言った。

「救いは、玉座におられる私たちの神と小羊にある。」

<sup>11</sup> また、天使たちは皆、玉座と長老たちと四つの生き物を囲んで立っていたが、玉座の前にひれ伏し、神を礼拝して、<sup>12</sup> こう言った。

「アーメン。賛美、栄光、知恵  
感謝、誉れ、力、権威が  
世々限りなく私たちの神にありますように  
アーメン。」

<sup>13</sup> すると、長老の一人が私に問いかけた。「この

白い衣を身にまとった者たちは誰か。またどこから来たのか。」<sup>14</sup>そこで私が、「私の主よ、それはあなたがご存じです」と答えると、長老は言った。

「この人たちは大きな苦難をくぐり抜け、その衣を小羊の血で洗って白くしたのである。

<sup>15</sup>それゆえ、彼らは神の玉座の前において

昼も夜も神殿で神に仕える。

玉座におられる方が、彼らの上に幕屋を張る。

<sup>16</sup>彼らは、もはや飢えることも渴くこともなく

太陽もどのような暑さも

彼らを打つことはない。

<sup>17</sup>玉座の中央におられる小羊が彼らの牧者となり

命の水の泉へと導き

神が彼らの目から涙をことごとく

拭ってくださるからである。」

#### ◆ヨハネによる福音書 10：22～30

<sup>22</sup>その頃、エルサレムで神殿奉献記念祭が行われた。冬であった。<sup>23</sup>イエスは、神殿の境内でソロモンの回廊を歩いておられた。<sup>24</sup>すると、ユダヤ人たちがイエスを取り囲んで言った。「いつまで私たちに気をもませるのか。もしメシアなら、はっきりそう言いなさい。」<sup>25</sup>イエスはお答えになった。

「私は言ったが、あなたがたは信じない。私が父の名によって行う業が、私について証しをしている。<sup>26</sup>しかし、あなたがたは信じない。私の羊ではないからである。<sup>27</sup>私の羊は私の声を聞き分ける。私は彼らを知っており、彼らは私に従う。<sup>28</sup>私は彼らに永遠の命を与える。彼らは決して滅びず、また、彼らを私の手から奪う者はいない。<sup>29</sup>私に彼らを与えてくださった父は、すべてのものより偉大であり、誰も彼らを父の手から奪うことはできない。<sup>30</sup>私と父とは一つである。」

#### 代祷項目

#### ★世界の教会とそれに連なる人びとのため

アングリカン・コミュニオン  
【世界の聖公会】 ルワンダ<sup>せいこうかい</sup>聖公会

【日本聖公会】 <sup>しんがっこう</sup>神学校の<sup>いの</sup>ために<sup>しゅじつ</sup>祈る<sup>せいこう</sup>主日（<sup>せいこう</sup>聖公会<sup>かいしんがくいん</sup>神学院、<sup>しんがくかん</sup>ウイリアムス<sup>せいこう</sup>神学館）

【東京教区】 <sup>りっきょうがくいん</sup>立<sup>しよせい</sup>教<sup>と</sup>学院<sup>れいはいどう</sup>（<sup>しよてんし</sup>諸<sup>れいはいどう</sup>聖<sup>しよがっこう</sup>徒<sup>ちゆうがっこう</sup>礼<sup>こうこう</sup>拜<sup>だいがく</sup>堂、<sup>せいこう</sup>小<sup>せいこう</sup>学<sup>せいこう</sup>校、<sup>せいこう</sup>中<sup>せいこう</sup>学<sup>せいこう</sup>校、<sup>せいこう</sup>高<sup>せいこう</sup>校、<sup>せいこう</sup>大<sup>せいこう</sup>学）

【北関東教区】 <sup>はるな</sup>榛<sup>せいこうきょうかい</sup>名<sup>せいこう</sup>聖<sup>せいこう</sup>公<sup>せいこう</sup>教<sup>せいこう</sup>会

【メリーランド教区】 <sup>せい</sup>聖<sup>きょうかい</sup>ヤ<sup>せい</sup>コ<sup>せい</sup>ブ<sup>せい</sup>教<sup>せい</sup>会、<sup>せい</sup>聖<sup>せい</sup>マル<sup>せい</sup>コ<sup>せい</sup>・オ<sup>せい</sup>ン<sup>せい</sup>・ザ<sup>せい</sup>・ヒ<sup>せい</sup>ル<sup>せい</sup>教<sup>せい</sup>会、<sup>せい</sup>諸<sup>せい</sup>聖<sup>せい</sup>徒<sup>せい</sup>教<sup>せい</sup>会

【エルサレム教区】 <sup>せい</sup>聖<sup>きょうかい</sup>ペ<sup>せい</sup>テ<sup>せい</sup>ロ<sup>せい</sup>教<sup>せい</sup>会

【NCC】 UBS Day（<sup>にほん</sup>聖<sup>せい</sup>書<sup>せい</sup>協<sup>せい</sup>会<sup>せい</sup>世界<sup>せい</sup>連<sup>せい</sup>盟<sup>せい</sup>の日<sup>せい</sup>5/9）、<sup>せい</sup>日<sup>せい</sup>本<sup>せい</sup>聖<sup>せい</sup>書<sup>せい</sup>協<sup>せい</sup>会

【信施奉献先】 <sup>しんがっこう</sup>神<sup>せい</sup>学<sup>せい</sup>校<sup>せい</sup>の<sup>せい</sup>た<sup>せい</sup>め

#### ★神の愛と正義による平和と和解の実現のため

ことにパレスチナとシリアの平和のため、ウクライナ、ミャンマー、アフガニスタンの平安のため、平和と正義の実現を求めて活動している人々のため

#### ★身近な人々との交わり、教会の交わりのため

ことにこの地域に生活する人々、教会に関わる諸団体・諸施設の営みを覚えて。入信志願者のため、また志願者が与えられるため

#### ★悩み、悲しみまた困難のうちにある人々のため

- ・療養中・ご高齢の人々
- ・東日本大震災および自然災害による犠牲者と被災者、支援する人々、
- ・原発事故のために悩んでいる人々
- ・暴力や犯罪、差別や貧困のために困難な生活を余儀なくされている人々
- ・新型コロナウイルス感染症の苦しみ、不安の内にある人々、医療看護に携わっている人々。ことに職を失って路上生活を余儀なくされた人々、生活が困難になった人々、その人々を支える人々
- ・一人で悩み、苦しんでいる人が教会につながり、神さまに近づくことができますように

#### ★逝去された人びとのため

- ・今週、逝去記念日を迎える人々のため